

## 総務部

部長：鈴木英世 副部長：松田 進

### (1) 今年度の目標

分掌の意味合いから、厚生活動、PTA活動、同窓会活動の3つを統合した目標を掲げ、さらに具体的な3つの目標を設定する必要があるが、生徒を中心に据えた目標設定を行う場合にはまず、昨年度と同様、「めざす姿」を示す必要がある。

「めざす姿」

生徒が本校を大切に思う心を育み、母校の歴史・伝統を尊重するとともに、具体的に先輩たちの活躍や活動の事績を学び知り、自分自身の将来の夢や職業的目標を自主的に確立していけるように導く。

(1年) 母校の歴史・伝統に触れ、校内の校舎を始め、さまざまな人や物を大切に思う心を養う。

(2年) 母校の先輩たちの足跡に触れ、調べ、思いをいたすような体験を持つ。

(3年) 母校の歴史・伝統を踏まえた上で、自分自身の将来設計、進路目標を具体的に確立していく。

### (2) 主な取り組みの計画

#### ① PTA活動

「PTA」だよりを通じて、保護者全員に対して、本校生徒の現況と将来的発展的な展望を広報・啓発する。創立百二十周年に因み、本校の歴史、逸話等を特集して周知する。

PTA家庭学級を開き、保護者対象の講演会を実施する。今年度は親と子のコミュニケーションに関する内容とする。

#### ② 同窓会活動

「記念館・同窓会館」を中心として、生徒に対して、先輩諸氏の事績や活躍の歴史を広告し、歴史・伝統のある母校での学校生活を送る自覚と誇りを育む。

創立百二十周年記念式典、創立記念講演会(120周年)を併せて、11月17日(日)に実施し、式典・講演会に参加することにより、伝統の重みを実感させるとともに、先輩の活躍を直接聴くことにより生徒各自の人間性の陶冶を促し、将来設計の指針の一助となることを目指す。

### (3) 成果

#### ① PTA活動

広報委員会活動による「PTA」だより63号(7月)と64号(12月)を作成し、1、2学期末の懇談を通じて保護者に配布し、学校の現況などを周知することができた。また、他の委員会活動も例年通り活発に活動でき、家庭学級(講演会)、厚生委員会、ソフトボール大会・ソフトバレーボール大会・綱引き大会など、PTAとして、活発に活動し交流することができた。

#### ② 同窓会活動

創立百二十周年を終え、学校行事と連携した記念式典および記念講演も、望外の成果を得ることができた。全校生徒が周年行事である記念式典を体験でき、また、神余隆博氏(昭43卒、関西学院大学副学長、前駐独特命全権大使)による記念講演を拝聴できたことは意義深いものであった。生徒たちの自己形成や、進路に対する意識を高める一助となってくれることを期待したい。創立記念講演会は、今後とも継続して毎年実施していく予定である。